

中遠広域事務組合議会 10月定例会

2022. 10. 24 (月) pm 10:00

～

於：磐田市新貝 事務組合会議室

出席者（敬称略） 寺田・近藤・議長・大庭報告

組合議会 磐田市7名 森町2名 計13名

市長提案説明＞ 台風15号被害、圏域内で1000件余の被害があった。お見舞い申し上げます。現在復旧にを鋭意行っている。災害廃棄物も受け入れている。当組合も50周年の節目の年である。3市町で協力して事業を進めている。

議案＞

- ・ 認 第1号 令和3年度中遠広域事務組合会計歳入歳出決算の認定 (全賛成認定)

- ・ 議案第1号 令和4年度中遠広域事務組合会計歳入歳出決算 (千円)

歳 入		歳 出	
1 分担金及び負担金	719,799,000	1 議会費	339,846
2 使用料及び手数料	55,065,000	2 総務費	62,508,981
3 財産収入	22,495,227	3 事業費※	527,198,112
4 繰入金	40,000,000	4 公債費	213,046,902
5 繰越金	34,533,859	5 予備費	0
6 諸収入	61,153		
7 組合債	58,500,000		
歳入合計	876,301,739	歳出合計	803,093,841

※不用額 63,077,888 円のうち工事請負費 40,686,500 円入札差金で不用額あり。

- ・ 議案第2号 令和4年度中遠広域事務組合会計補正予算について (全賛成承認)

- ・ 議案第2号 令和4年度中遠広域事務組合会計補正予算 (千円)

歳 入			歳 出		
	補正額	計		補正額	計
4 繰入金	5,730	35,730	3 事業費	5,730	612,67
1 繰入金			1 事業費		
1 基金繰入金			1 業務費		
1 財政調整基金繰入金			1 不燃処理施設業務費		
			1 管理運営費		光熱費

内容は世界的燃料価格の高騰によるもので光熱水費の増額を行う。財源に財政調整基金を充てる。

・議案第3号 令和4年度中遠広域粗大ゴミ処理施設修繕（長寿命化・定期）工事
請負契約の締結について（全賛成承認）

9月8日に随意契約により見積もりを行い川崎重工業株式会社が
3.8億円で落札をし、これに消費税を入れた4.18億円で工事
請負契約を締結する。議会の議決に付すべき契約及び財産の取得及
び処分に関する条例 第2条に基づき提出する。

R7年度に完了する粗大ゴミ施設の長寿命化事業、コンベアは4年
5年、各種事業を実施。

議案第1号質疑>決算に対して

- Q1 （根津）鉄の単価がどのように変動したか。P19 工事請負費4000万円不
用額が出ている。主に堰堤工事だが差額が大きい。入札について確認したい。
- A1 （事務局）鉄の単価は当初P1.1円/kgで計算していた。令和3年度経済
変動があり、13円/kgになった。
入札は制限付き一般競争入札で行った。20社参加した。75.3%の落札率だ
った。差が大きかったため管理士の磐田市に確認したところ妥当であるとの意見
も貰っている。
- Q2 （戸塚）11P事業概要の粗大ゴミの近年搬入量について23年頃に比べ磐田市
が3.8倍、袋井市2.6倍、森が2倍と多いが理由は何か。
粗大ゴミの減量化の考えを聞きたい。1P、監査意見書に市町の連携が一層にと、
「一層」に対する見解は。連携の実態と、
エコアクションの手数料19万円余の額について、HPアクセスが20000件
と聞いているがどうか。
- A2 H23年に比べ搬入量が多いのは、H26年、今まで廃プラスチックをやっていた
が、小型電化製品を受け入れるようになった。H30年度磐田市の大藤の処分
場が閉鎖になった。また、コロナもあった事が原因となっている。減量化対策は、
各市町に資源化等、減量化をお願いしている。
連携について、一層というのはR3年度、管理者が新しくなり、関係を密にして
いる。分担金の指摘が議会からあり、管理者会を2回、課長会議5回、勉強会を
4回、ゴミ処理や災害ゴミの勉強会をそれぞれ1回づつ行った。
エコアクションについては、R3年度は認証更新の年で昨年度に比べ額が増えて
いる。啓発も環境教育を行った。
- Q3 （寺田）最終埋め立て場の搬入が81.4%減少しているが、埋め立て残量につ
いて伺う。磐田市の分はどうなっているか。
- A3 減少ではなく81.4%の埋め立て率である。残量について、R8年12月迄の
埋め立てについて伺う。
R2年度の試算では、20770m³程度を予想していたが25000m³と推計し
直した。R3年4月から磐田市分は焼却灰の半分を資源化で減少となる。
R3年度の末の残容量25328m³となる。
- Q4 （大庭）136036m³、当初169616m³となっている。令和8年度12月
に当初、キャパシティに対していくつか何%になるかが大事である。
平成18年の埋め立て容量がこれまで変わってきている。
- A4 R3年度末、元々の容量に対して65.3%、あと4年で満杯になる。当初19
万m³、は覆土を含めた数字。今後資料をわかり易くしたい。

議案第2号質疑＞補正に対して

質疑無し。

議案第3号質疑＞請負契約締結について

- Q5 根津＞長寿命化は？工事が入っているのか？定期工事が長寿命化に入っているか？同じではないか？
- A5 長寿命化事業の基幹部分、により15年程度設備が延命する。定期工事は3－5年程度の寿命が延びる。例えばコンベアのベルト、など定期的に交換する。
- Q6 定期工事部品は長寿命化に入らないか。
- A6 その通り。
- Q7 寺田＞堰堤の補正と関係あるか？
- Q8 長寿命化と森町は関係ない。4,000万円の不用額、長寿命化と関係は？
- A8 4,000万円不用額は、処分場の入札差金、R3長寿命化は税収が下がると言うことで延期したため。森町と関係ない。
- Q9 不燃物破袋は？
- A9 その通り

以上

全員協議会

- (1) 令和4年度台風15号における本組合の対応について

台風についての説明あり・・・

300mmを3市町超えた

	床上	床下	計
磐田	299	474	773
袋井	106	198	304
森町	28	79	107
計	433	751	1184

- (2) 埋立ごみ処理の民間委託化について

- ・方針決定までの協議プロセスについて 別紙
- ・埋立ごみ処理の現状と調査にあたっての視点 別紙

全協質疑＞

- 戸塚＞ 罹災証明無しで減免をした
- 事務局＞ 災害ゴミだと自己申告で減免処理としている
- 戸塚＞ 事業者と住民の区分け
- 事務局＞ 減免なら無料、事業系ゴミは扱っていない
- 西田＞ 土砂の堆積したものを、学校に一旦仮に置いて処理してる
- 事務局＞ 家庭ゴミを森町で埋める

- 根津＞ 民間事業者とは、処理パターンの意味が分からない
- 事務局＞ 5者選定 45社から選んで処理
ゴミは自治体で処理

。